

「脱ムダ」で市政を変える！ 市政改革を前へ、前へ
小金井市議会議員／情報公開こがねい

週刊 渡辺大三 NEWS



【会派 NEWS】 2020(令和2)年 11 月 9 日 週刊 vol.64

【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

どうして、こんな当然の内容が認められないのか・・・(怒)

議会改革 2 陳情、不採択に

1 件→「定例議会終了後、その結果を YouTube で広報して」

1 件→「市議会が市民からの質問に回答するシステム導入を」

小金井市議会は、第 3 回定例議会(9 月～10 月)において、議会改革に関連する 2 件の陳情書を本会議で採決に付しました。

1 件は「定例議会終了後に、ユーチューブ(YouTube)で定例議会の結果をわかりやすく広報することを求める陳情書」で、賛成 6 反対 13 退席 4 で「不採択」となりました。

動画での定例議会の結果報告は、たとえば長野県松本市議会に例があります。同市議会 HP の大項目「議会広報」の欄の小項目「委員会報告」をご覧いただければイメージが分かると思います。

市民の皆さんは日々の仕事や生活に忙しく、市議会の会議のユーチューブ中継を全部視聴することはまったく不可能です。そういう意味では、年に 4 回の定例議会について、そのエッセンスを短時間にまとめて動画で提供する工夫は必要不可欠だと思います。

また、若者の「文字離れ」は加速する一方であり、動画での広報は、若者に市政や市議会に関心を持ってもらう「きっかけ」にもなるものです。

小金井市議会は、会議のユーチューブ中継は実施しており、機材はあるわけですから、機材購入費が必要になるわけでもありません。要は「やる気」があるかどうか・・・だけです。

各会派各議員の陳情書に対する採決態度は以下のとおりでした。

○賛成⇒情報公開こがねい(渡辺大三)、こがおも(白井・水谷)、ネット(田頭)、市民力エル(片山)、緑つながる(坂井)。

×反対⇒、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、改革連合(篠原)

▲退席⇒共産党(板倉・水上・たゆ)、市民会議(齊藤)

*五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。

*「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。

もう 1 件は「市議会が市民からの質問に回答するシステムの導入を求める陳情書」で、賛成 3 反対 17 退席 3 で「不採択」となりました。

市長の方は、前市長の際に「市長への手紙(葉書)」「市長へのファックス」「市長への E メール」制度が導入され、市民からの質問を随時受け付け、原則として 10 日以内に回答するシステムとなっています。

一方、議会にはそういうシステムがありません。陳情書は、議会にも導入を求めるという、常識的な内容でした。なんで不採択にするのか、私には理由がまったく分かりませんでした。

各会派各議員の陳情書に対する採決態度は以

下のとおりでした。

○賛成⇒情報公開こがねい(渡辺大三)、市民会議(齊藤)、市民カエル(片山)。

×反対⇒、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、こがおも(白井・水谷)、改革連合(篠原)、ネット(田頭)、緑つながる(坂井)。

▲退席⇒共産党(板倉・水上・たゆ)

*五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。
*「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。

私は、今後も、「市民に開かれた議会」「市民がアクセスしやすい議会」「市民の「なぜ？」に応える議会」の実現をめざして、今回「不採択」となった内容に関しても、あきらめないで実現をめざしてまいります。

渡辺大三の資料請求で明らかに **学校により相当違う配備状況**

「避難所の換気に万全を」

コロナ蔓延下での大災害発生を想定した対策を

市議会で、災害対策を所管している委員会は、総務企画委員会です。私も同委員会に所属しています。新型コロナウイルス感染症が蔓延している中で、大地震などの大規模災害が発生した場合、避難所となる学校の「換気」対策は十分なのか…。

そのことが気になりましたので、市立小中学校ごとの「大型扇風機」「発電機」配備状況について、資料の提出を求めました。その結果、以下のような資料が市長側から提出されました。

学校名	大型扇風機	発電機
小金井第一小学校	4台	2台
小金井第二小学校	3台	11台
小金井第三小学校	4台	1台
小金井第四小学校	1台	1台
東小学校	3台	1台
前原小学校	4台	1台
本町小学校	4台	1台
緑小学校	1台	1台
南小学校	2台	1台
小金井第一中学校	4台	1台
小金井第二中学校	2台	1台
東中学校	1台	2台
緑中学校	2台	1台
南中学校	2台	1台

※1 発電機は上記以外に15台備蓄。
※2 今年度中に蓄電池を各校に配備予定。

現状での大型扇風機の配備は、新型コロナウイルス感染症対策としての配備ではありませんが、学校ごとに数が相当異なることは分かりました。

どのような方法での換気が新型コロナウイルス感染症対策に有効なのかの検討も含めて、換気に必要な物資の適切な配備を求めています。

渡辺大三の独り言(日々の雑感) vol.1

たまに「独り言」を書かせていただくことにしました。お時間がございましたら、ご一読いただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

69歳の時にくも膜下出血で倒れて半身不随となり、70歳の時に東日本大震災の津波で宮城県山元町の家屋を失った父が、11月2日、80歳の誕生日を迎えました。「八」と「十」で、いわゆる傘寿です。

現在は、長男である私がいる小金井の特養ホームにありますが、新型コロナウイルス感染症対策で、しばらく面会しませんでした。今月は「面会」が許されるようですので、月内に面会できればと思います。

東日本大震災の当日、父は、山沿いのデイサービスに行っていました。当時は、山沿いの施設と海沿いの施設に交互にお世話になっていたのです。

水没した自宅にいても、壊滅した海沿いのデイサービスにいても、助からなかったと思います。人の運命というのは、わからないものです。